



事業報告書

令和2年度



2021年6月25日

社会福祉法人

北広島市社会福祉協議会

1 法人運営関係	2
1 評議員会（評議員 31 人）	2
2 理事会（理事 15 人）	3
3 三役会議（会長・副会長・常務理事）	4
4 北広島市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会（委員 5 人）	4
5 苦情解決委員会（第三者委員 2 人）	4
6 監査（監事 2 人）	4
7 会 員	5
8 受 贈	5
9 三役及び職員	5
2 事業活動関係	6
1 社会福祉事業	6
1 地域福祉推進事業（12,279,831 円） ※決算報告書収支決算総括表 p 3 参照	6
2 在宅福祉推進事業（31,034,949 円） ※決算報告書収支決算総括表 p 3 参照	11
3 ボランティア活動推進事業（1,655,370 円） ※決算報告書収支決算総括表 p 3 参照	13
4 権利擁護推進事業（10,219,645 円） ※決算報告書収支決算総括表 p 3 参照	16
5 生活福祉資金等貸付事業（568,320 円） ※決算報告書収支決算総括表 p 3 参照	17
6 法人運営事業（62,481,509 円） ※決算報告書収支決算総括表 p 3 参照	18
2 公益事業	21
1 法人後見事業（171,052 円） ※決算報告書収支決算総括表 p 4 参照	21
3 補足説明	22
4 令和 2 年度評議員等一覧	25

はじめに

世界的に蔓延する新型コロナウイルス感染症は、令和2年度においても感染拡大を続け、いまま人々の生活や社会活動に大きな影を落としています。

国や地方は緊急事態宣言の発令や自粛要請など、様々な対策を講じるとともに社会活動の抑制を図り、感染拡大の予防及び防止に努めています。

人の往来や接触の自粛といった事態は、東京オリンピックやパラリンピックの延期や集客を伴う活動の中止など様々な分野及び生活や経済に大きな影響を与えました。

一方、北広島市は高齢化と人口減少が進行しています。とりわけ高齢者世帯の増加に伴い、地域での生活に不安を掲げる声も多く、また地域とのつながりも、コロナの関係で一層希薄化する傾向が強くなっています。

こうした中、本会は新たな生活様式を踏まえながら在宅福祉サービス・成年後見制度の普及促進、認知症への理解と家族を支援する地域支え合いセンターの運営などを通じ、地域福祉の推進に努めました。

以下、本会の令和2年度における活動内容を報告します。

1 法人運営関係

1 評 議 員 会（評議員 31 人）

評議員会は、北広島市社会福祉協議会の最終意思決定機関として、予算、決算、基本財産の処分、事業計画及び事業報告などの重要事案を審議する機関です。以下、令和2年度の審議状況を報告します。 ※1（P22 参照）

○第1回（定款第16条第4項の規定に基づく書面審議）

決議があったとみなされた日 令和2年6月22日

- ・議案第1号 令和元年度北広島市社会福祉協議会事業報告について
- ・議案第2号 令和元年度北広島市社会福祉協議会決算報告について
- ・議案第3号 北広島市社会福祉協議会理事の選任について

【決議情況】 いずれも原案可決

【議事概要】令和元年度の事業報告及び決算報告の承認を得るとともに、欠員となっていた社会福祉委員会の選出区分より新たに理事1名が選任された。

○第2回（令和3年3月18日）

- ・報告第1号 第7期地域福祉実践計画の策定について
- ・議案第1号 令和3年度北広島市社会福祉協議会事業計画について
- ・議案第2号 令和3年度北広島市社会福祉協議会資金収支予算について

【決議情況】いずれも原案可決

【議事概要】令和3年度を初年度とする第7期地域福祉実践計画の策定に関して概要について報告し、あわせて令和3年度の事業計画及び資金収支予算の承認を得た。

2 理 事 会（理事15人）

理事会は、北広島市社会福祉協議会の業務運営に係る決定機関です。以下、令和2年度の審議状況を報告します。 ※2（P22参照）

○第1回（定款第30条第2項の規定に基づく書面審議）

決議があったとみなされた日 令和2年6月3日

- ・議案第1号 令和元年度北広島市社会福祉協議会事業報告について
- ・議案第2号 令和元年度北広島市社会福祉協議会決算報告について
- ・議案第3号 令和2年度定時評議員会の開催について
- ・議案第4号 北広島市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について
- ・議案第5号 北広島市社会福祉協議会評議員の選任候補者の推薦について

【決議情況】いずれも原案可決

【議事概要】平成元年度事業報告及び決算報告の承認を得るとともに、定時評議員会及び評議員選任・解任委員会の開催、評議員選任候補者などを決定した。

○第2回（定款第30条第2項の規定に基づく書面審議）

決議があったとみなされた日 令和2年9月24日

- ・議案第1号 北広島市社会福祉協議会功労表彰及び善行表彰の承認について
- ・報告第1号 第7期地域福祉実践計画について
- ・報告第2号 令和2年度中間監査報告について

【決議情況】いずれも原案可決

【議事概要】表彰規程に基づき、功労表彰で個人11人と善行表彰1団体を決定した。

○第3回（定款第30条第2項の規定に基づく書面審議）

決議があったとみなされた日 令和2年12月4日

- ・議案第1号 北広島市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程について

- ・報告第1号 令和2年度中間監査報告について

【決議情況】議案は、いずれも原案可決

【議事概要】令和2年度人事院勧告及び諸情勢を踏まえ北広島市職員の給与改定が行われたことから、北広島市に準じて所要の改正を行う。

○第4回（令和3年3月10日）

- ・報告第1号 令和2年度中間監査報告について
- ・報告第2号 令和2年度北広島市社会福祉協議会業務執行状況について
- ・報告第3号 第7期地域福祉実践計画の策定について
- ・議案第1号 令和2年度第2回評議員会の開催について
- ・議案第2号 令和3年度北広島市社会福祉協議会事業計画について
- ・議案第3号 北広島市社会福祉協議会資金収支予算について

【決議情況】いずれも原案可決

【議事概要】令和3年度を初年度とする第7期地域福祉実践計画の策定に関して概要について報告し、あわせて令和3年度の事業計画及び資金収支予算の承認を得た。

3 三役会議（会長・副会長・常務理事）

理事会の招集及び提出議案、要望事案等を審議するため、次の通り開催した。

令和2年5月27日（水）、令和2年8月4日（火）、令和2年9月15日（火）、
令和3年2月26日（金）

4 北広島市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会（委員5人）

評議員の辞任に伴い新たに2名の評議員を選任した。

開催日時 令和2年6月10日（水）

5 苦情解決委員会（第三者委員2人）

開催なし

6 監 査（監事2人）

○監査

令和元年度決算監査 令和 2 年 5 月 22 日 (金)

令和元年度中間監査 令和 2 年 7 月 17 日 (金)

令和 2 年 11 月 4 日 (水)

令和 3 年 1 月 27 日 (水)

7 会 員

○賛助会員 129 件 (自治会・町内会ほか) 4,146,450 円 (前年 133 件 4,080,100 円)

○特別会員 74 件 (法人会員) 758,000 円 (前年 90 件 901,000 円)

8 受 贈

○寄付金 34 件 (個人・団体) 1,017,138 円 (前年 42 件 1,509,244 円)

○物 品 車いす 2 台

9 三役及び職員

○三役及び常務理事

会 長 川島 光行 (任期 令和 3 年度の定時評議員会終結時) 在職 13 年

副会長 伊藤 正秀 (任期 令和 3 年度の定時評議員会終結時) 在職 10 年 2 ヶ月

副会長 小池 隆史 (任期 令和 3 年度の定時評議員会終結時) 在職 2 年 5 ヶ月

常務理事 三熊 秀範 (任期 令和 3 年度の定時評議員会終結時) 在職 8 年 9 ヶ月

○職員

局長 1 名 (常務理事兼任) 次長 1 名 主査 3 名 主任 2 名 準職員 6 名 (欠員 1 名)

※三役の在職年数は令和 2 年 3 月 31 日現在

2 事業活動関係

1 社会福祉事業

1 地域福祉推進事業 (12,279,831 円)

※決算報告書収支決算総括表 P 3 参照

施策体系・事業名	事業内容																						
1 北ひろしま福祉のつどい	<p>◎事業費 47,547 円 (前年 335,509 円)</p> <p>●第 45 回北ひろしま福祉のつどい ※3 (P22 参照) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、実行委員会を設置しないで実施した。 開催日 10 月 17 日 (土) 場 所 北広島エルフィンビル 参加者 19 人 来賓 (市長・議長)、会長、副会長、事務局 (8 名) 顕彰事業 功労表彰 個人 5 人、善行表彰 1 団体</p>																						
2 心配ごと相談事業	<p>◎事業費 87,650 円 (前年 155,163 円)</p> <p>●心配ごと相談所 毎週火曜日と木曜日の 13 時から 16 時に実施 相談員 6 人 開設日数 96 日 利用者数 延 49 人 (前年 41 人) 相談件数 延 55 件 (〃 60 件)</p> <p>【相談内訳】</p> <table> <tr> <td>生計に関すること</td> <td>6 件 (〃 8 件)</td> </tr> <tr> <td>職業・生業に関すること</td> <td>1 件 (〃 6 件)</td> </tr> <tr> <td>住宅に関すること</td> <td>3 件 (〃 4 件)</td> </tr> <tr> <td>消費生活に関すること</td> <td>4 件 (〃 2 件)</td> </tr> <tr> <td>家庭生活に関すること</td> <td>11 件 (〃 9 件)</td> </tr> <tr> <td>離婚に関すること</td> <td>0 件 (〃 2 件)</td> </tr> <tr> <td>保健衛生に関すること</td> <td>0 件 (〃 1 件)</td> </tr> <tr> <td>医療に関すること</td> <td>1 件 (〃 2 件)</td> </tr> <tr> <td>精神保健に関すること</td> <td>9 件 (〃 4 件)</td> </tr> <tr> <td>財産に関すること</td> <td>2 件 (〃 2 件)</td> </tr> <tr> <td>母子・児童福祉に関すること</td> <td>2 件 (〃 3 件)</td> </tr> </table>	生計に関すること	6 件 (〃 8 件)	職業・生業に関すること	1 件 (〃 6 件)	住宅に関すること	3 件 (〃 4 件)	消費生活に関すること	4 件 (〃 2 件)	家庭生活に関すること	11 件 (〃 9 件)	離婚に関すること	0 件 (〃 2 件)	保健衛生に関すること	0 件 (〃 1 件)	医療に関すること	1 件 (〃 2 件)	精神保健に関すること	9 件 (〃 4 件)	財産に関すること	2 件 (〃 2 件)	母子・児童福祉に関すること	2 件 (〃 3 件)
生計に関すること	6 件 (〃 8 件)																						
職業・生業に関すること	1 件 (〃 6 件)																						
住宅に関すること	3 件 (〃 4 件)																						
消費生活に関すること	4 件 (〃 2 件)																						
家庭生活に関すること	11 件 (〃 9 件)																						
離婚に関すること	0 件 (〃 2 件)																						
保健衛生に関すること	0 件 (〃 1 件)																						
医療に関すること	1 件 (〃 2 件)																						
精神保健に関すること	9 件 (〃 4 件)																						
財産に関すること	2 件 (〃 2 件)																						
母子・児童福祉に関すること	2 件 (〃 3 件)																						

施策体系・事業名	事業内容
	<p>年金に関すること 1件（＃1件）</p> <p>障がい者福祉に関すること 4件（＃1件）</p> <p>高齢者福祉に関すること 4件（＃7件）</p> <p>苦情 1件（＃3件）</p> <p>その他 6件（＃5件）</p> <p>定例会 4回 事例検討など</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、定例会（1回）、研修会、市内各種相談員交流会を中止した。</p>
3 障がい児・者療育キャンプ	※新型コロナウイルス感染症の拡大防止により中止
4 手話奉仕員養成研修等事業	<p>◎事業費 297,350円（前年 528,688円） ※4（P22参照）</p> <p>●手話講習会入門講座</p> <p>夏休み及び冬休みの期間中に協力団体のイベントで、小学生や親等を対象に指文字や挨拶等に関するミニ手話教室を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により中止</p> <p>（前年：夏休み4回、延べ97人・冬休み4回、延べ69人）</p> <p>●手話講習会初級講座</p> <p>講義及び技術により構成し、手話の基礎からある程度日常会話ができるまでの学習</p> <p>8月5日～11月11日の毎週水曜日 15回実施 18：30～20：30</p> <p>受講者13人（前年6人）</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の拡大防止による北海道の集中的な感染対策に合わせて11月18日以降は6回中止</p> <p>●手話講習会中級講座</p> <p>手話通訳者に必要な手話通訳技術と知識などを身につける学習</p> <p>8月5日～11月11日の毎週水曜日 15回実施 18：30～20：30</p> <p>受講者6人（前年4人）</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の拡大防止による北海道の集中的な感染対策に合わせて11月18日以降は12回中止</p> <p>●手話通訳者養成フォローアップ講座</p> <p>手話通訳のための専門知識と技術等のレベルアップを図る学習</p>

施策体系・事業名	事業内容
	<p>7月30日～11月5日の木曜日6回実施 18:30～20:30 受講者4人(前年0人/新規)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の拡大防止による北海道の集中的な感染対策に合わせて11月26日以降は4回中止</p> <p>●手話通訳者専門講座 手話通訳者としての専門知識と技術の向上を図る学習</p> <p>7月2日～10月29日の木曜日7回実施 18:30～20:30 受講者5人(前年5人)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の拡大防止による北海道の集中的な感染対策に合わせて11月29日は中止</p>
5 福祉団体助成事業	<p>◎事業費 4,102,646円(前年4,098,220円)</p> <p>●地区社会福祉委員会への助成金交付 ※5(P22参照) 9地区 3,647,000円(前年9地区3,647,000円)</p> <p>●福祉団体等の支援 ※6(P22参照) 6団体 450,000円(前年6団体446,000円)</p>
6 共同募金助成事業	<p>◎事業費 2,113,582円(前年2,205,330円) ※うち助成金1,841,863円</p> <p>●児童・生徒のボランティア活動普及事業 200,880円 ※うち助成金200,000円 北広島市立緑ヶ丘小学校、札幌日本大学中学・高等学校 各校100,000円</p> <p>●障がい児・者クリスマスパーティー3,850円/うち助成金3,000円(前年110,332円/うち助成金100,000円) ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止による北海道の集中的な感染対策に合わせて中止したが、K L U Cが昨年の参加者に手作りクリスマスプレゼントを作製し配付した。</p> <p>●赤ちゃんに絵本を贈ろう 323,298円/うち助成金117,000円(前年346,274円/うち助成金100,000円) 赤ちゃんの豊かな心をはぐくむ絵本を贈呈 配布冊数223冊(前年208冊)</p>

施策体系・事業名	事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> ●歳末助け合い見舞金 1,440,554 円 (〃 1,311,860 円) 対象世帯数 293 世帯×4,700 円 (〃 261 世帯×4,800 円) ※うち助成金 1,377,100 円 ●広報紙発行事業 145,000 円 (〃 236,000 円) 歳末助け合い募金助成事業 145,000 円 (〃 236,000 円) ※うち助成金 144,763 円
7 地域支え合いセンター事業	<p>◎事業費 4,473,179 円 (前年 7,331,728 円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域支え合いセンター 高齢者が安心して暮らすため、認知症の正しい知識と対応方法の普及活動及び認知症の方又は予防が必要な方への傾聴活動、緊急時の情報伝達手段としての救急情報キットの配布等を実施 ●認知症支え合い事業 利用者 8 人 (前年 11 人) 継続 6 人 (〃 8 人) 新規 2 人 (〃 3 人) 利用延回数 35 回 (〃 182 回) 認知症支え合い員 31 人 (〃 40 人) 継続 31 人 (〃 40 人) 新規 0 人 (〃 0 人) 訪問回数 35 回 (〃 182 回) 利用者情報交換会 延 8 回 (〃 10 回) 延 24 人 (〃 58 人) 「支え合い通信」発行 4 回 (〃 4 回) ●認知症支え合い員自主研修 0 回 延 0 人 (〃 0 人) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 ●フォローアップ講座 講座 0 回 (〃 1 回) 延 0 人 (〃 20 人) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 ●認知症啓発団体支援事業 キャラバン・メイト 38 人 (前年 43 人)

施策体系・事業名	事業内容
	<p>運営協力者 0人（＼14人） 運営会議 3回 延15人（＼31人） 全体会議 1回 ※書面会議38人（＼20人） ステップアップ講座検討委員会 0回（＼16人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●認知症サポーター養成講座 ※7（P22参照） 講座 2回（＼23回） 参加団体数（学校及び企業等） 2団体（＼23団体） 参加人数 101人（＼714人） ●認知症サポーターステップアップ講座 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 ●きたひろしまおれんじメイト ※8（P22参照） 登録者 133名 登録者に認知症の普及、啓発の活動案内を送付 ●マイピー缶バッジ作製・配布 養成講座参加の児童生徒に配布 ●救急情報キット「エルフィンバトン」配布 高齢者実態調査で把握した対象者等に救急搬送時に必要な本人情報（かかりつけ医、服用薬、連絡先等）の保管キット配布 配布世帯数 480人（前年511人） 独居高齢者 101人（＼97人） 高齢者夫婦 301人（＼347人） その他 40人（＼59人） 65歳以下同居希望者 31人（＼1人） 障がい者等 7人（＼7人） ●業務調整会議 14回（＼11回） ●啓発用ポスター及びパンフレットの作製・配布
8 生活支援コーディネーター事業	<p>◎事業費 1,157,877円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第1層協議体 2回 ●生活支援コーディネーター連絡会議 7回 ●はじめての方でも大丈夫！オンライン交流体験講座 3回

施策体系・事業名	事業内容
	講師 有限会社パウアンドカンパニー 代表取締役 佐藤 彰洋 氏 日程 第1回 令和3年2月22日 参加者7人 第2回 令和3年2月24日 参加者7人 第3回 令和3年2月26日 参加者9人

2 在宅福祉推進事業 (31,034,949 円)

※決算報告書収支決算総括表 P3 参照

施策体系・事業名	事業内容
1 配食サービス事業	◎事業費 17,114,204 円 (前年 15,843,384 円) ●配食サービス 食事を作ることが困難な高齢者や障がい者を対象に夕食を配送及び安否確認 利用者 138 人 (前年 116 人) 配食数 21,873 食 (〃 20,281 食) 配食日数 年末年始を除く週 7 回 359 日 (〃 360 日) ボランティア 30 人 (前年 31 人) 配食ボラ 13 人 (〃 13 人) 配送ボラ 17 人 (〃 18 人)
2 紙おむつ助成事業	◎事業費 8,532,792 円 (前年 7,538,692 円) ●紙おむつ助成 在宅で介護を受けている高齢者や障がい者に購入助成券を交付 利用者 250 人 (前年 218 人) 利用枚数 延 8,339 枚 (〃 7,412 枚) 協力店舗 市内 13 店舗 (〃 13 店舗) ※9 (P23 参照)
3 テレホンサービス事業	◎事業費 130,571 円 (前年 131,110 円) ●テレホンサービス 1 人暮らしの高齢者を対象に安否確認 (1~5 回/週) 利用者 8 人 (前年 8 人) ボランティア 8 人 (〃 9 人)
4 訪問理容サービス事業	◎事業費 629,826 円 (前年 587,546 円)

施策体系・事業名	事業内容																										
	<p>●訪問理容サービス 在宅で寝たきりの高齢者や重度身体障がい者に助成券を交付 利用者 56人（前年 51人） 利用回数 延 226回（〃 223回） 協力店舗 市内 6店舗（〃 7店舗） ※10（P23 参照）</p>																										
5 除雪サービス事業	<p>◎事業費 4,627,556円（前年 4,689,540円）</p> <p>●除雪サービス 除雪作業が困難な低所得の高齢者・身体障がい者世帯を対象に 玄関から公道までの除雪を実施 ※11（P23 参照） 利用世帯 215世帯（前年 215世帯）</p> <table data-bbox="635 792 1206 972"> <tr> <td>独居高齢世帯</td> <td>181世帯（〃 178世帯）</td> </tr> <tr> <td>高齢夫婦世帯</td> <td>26世帯（〃 26世帯）</td> </tr> <tr> <td>身体障がい者世帯</td> <td>5世帯（〃 8世帯）</td> </tr> <tr> <td>その他世帯</td> <td>3世帯（〃 3世帯）</td> </tr> </table> <p>【地区別内訳】</p> <table data-bbox="635 1032 1190 1451"> <tr> <td>東部北地区</td> <td>20世帯（〃 19世帯）</td> </tr> <tr> <td>東部南地区</td> <td>22世帯（〃 25世帯）</td> </tr> <tr> <td>西の里虹ヶ丘地区</td> <td>32世帯（〃 36世帯）</td> </tr> <tr> <td>大曲地区</td> <td>26世帯（〃 30世帯）</td> </tr> <tr> <td>西部地区</td> <td>27世帯（〃 27世帯）</td> </tr> <tr> <td>第1住区地区</td> <td>19世帯（〃 17世帯）</td> </tr> <tr> <td>第2住区地区</td> <td>29世帯（〃 25世帯）</td> </tr> <tr> <td>第3住区地区</td> <td>17世帯（〃 18世帯）</td> </tr> <tr> <td>第4住区地区</td> <td>23世帯（〃 18世帯）</td> </tr> </table>	独居高齢世帯	181世帯（〃 178世帯）	高齢夫婦世帯	26世帯（〃 26世帯）	身体障がい者世帯	5世帯（〃 8世帯）	その他世帯	3世帯（〃 3世帯）	東部北地区	20世帯（〃 19世帯）	東部南地区	22世帯（〃 25世帯）	西の里虹ヶ丘地区	32世帯（〃 36世帯）	大曲地区	26世帯（〃 30世帯）	西部地区	27世帯（〃 27世帯）	第1住区地区	19世帯（〃 17世帯）	第2住区地区	29世帯（〃 25世帯）	第3住区地区	17世帯（〃 18世帯）	第4住区地区	23世帯（〃 18世帯）
独居高齢世帯	181世帯（〃 178世帯）																										
高齢夫婦世帯	26世帯（〃 26世帯）																										
身体障がい者世帯	5世帯（〃 8世帯）																										
その他世帯	3世帯（〃 3世帯）																										
東部北地区	20世帯（〃 19世帯）																										
東部南地区	22世帯（〃 25世帯）																										
西の里虹ヶ丘地区	32世帯（〃 36世帯）																										
大曲地区	26世帯（〃 30世帯）																										
西部地区	27世帯（〃 27世帯）																										
第1住区地区	19世帯（〃 17世帯）																										
第2住区地区	29世帯（〃 25世帯）																										
第3住区地区	17世帯（〃 18世帯）																										
第4住区地区	23世帯（〃 18世帯）																										

3 ボランティア活動推進事業（1,655,370 円） ※決算報告書収支決算総括表 P 3 参照

施策体系・事業名	事業内容
1 ボランティアセンターの運営	<p>◎事業費 1,655,370 円（前年 2,382,149 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアセンター 運営委員 11 人 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会議自体は中止 ●ボランティア団体へ助成 ※12（P23 参照） 助成団体 13 団体（前年 15 団体） （会員数 428 人 R2.4.1 現在） 助成金 335,000 円（＼ 385,000 円） ●ボランティア活動保険等の加入促進 <ul style="list-style-type: none"> ①ボランティア活動保険 <ul style="list-style-type: none"> ・加入者 1,658 人（前年 1,903 人） （内訳／70 団体 1,193 人、個人 465 人） うち災害ボラ活動保険 0 人（＼ 34 人） ②ボランティア行事用保険 <ul style="list-style-type: none"> ・受付件数 129 件（＼ 146 件）うち中止 2 件 ・加入者 6,241 人（＼ 9,808 人）うち中止分 40 名 ③福祉サービス総合補償 <ul style="list-style-type: none"> ・受付件数 4 件（＼ 2 件） ・加入者 54 人（＼ 37 人） ④送迎サービス補償 <ul style="list-style-type: none"> ・受付件数 0 件（＼ 2 件） ・加入者 0 人（＼ 20 人） ⑤保険金請求手続き 3 件（＼ 6 件） ●広報「じゃがいも」の発行 回数 2 回 1 月 15 日発行（No19） 3 月 15 日発行（No20） ●ホームページ・フェイスブックを通じた情報発信 随時 ●カレンダー募金活動の支援 例年、札幌日本大学高校 J R C 等の生徒達がカレンダー類を販売していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により中

施策体系・事業名	事業内容								
	<p>止した。社会福祉協議会事務所で3密を避けて実施 社協収益 18,700 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●友愛セール 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 ●ボランティア祭り 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 ●福祉のパネル展 8月28日(金)～10月27日(火) エルフィンパーク交流広場、中央公民館、北広島団地住民センター、農民研修センター、大曲会館、西の里会館、ふれあい学習センターで順次開催 参加団体 68 団体 ※13 (P23 参照) ●ボランティア登録・派遣 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>相談件数</td> <td>88 件 (前年 153 件)</td> </tr> <tr> <td>派遣依頼</td> <td>71 件 (〃 135 件)</td> </tr> <tr> <td>活動希望・登録</td> <td>12 件 (〃 10 件)</td> </tr> <tr> <td>情報提供</td> <td>5 件 (〃 8 件)</td> </tr> </table> <p>【派遣依頼 (71 件) の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①総合学習等の支援 22 件 派遣件数 20 件／延日数 28 日間／延人数 104 人 車いす体験、高齢者疑似体験、手話体験、アイマスク体験、障がいを持つ当事者からの講話など ②福祉施設等の行事や活動の支援 28 件 派遣件数 5 件／延日数 76 日間／延人数 77 人 手品、玉すだれなど特技の披露 ③傾聴活動 15 件 派遣件数 1 件／延日数 3 日間／延人数 3 人 高齢者施設でのお話し相手 ④地域の活動支援 0 件 派遣件数 0 件／延日数 0 日／延人数 0 日 ⑤個人への支援 1 件 派遣件数 0 件／延日数 0 日／延人数 0 人 個人宅での囲碁の相手 ⑥社協活動への支援 5 件 派遣件数 5 件／延日数 23 日／延人数 37 人 	相談件数	88 件 (前年 153 件)	派遣依頼	71 件 (〃 135 件)	活動希望・登録	12 件 (〃 10 件)	情報提供	5 件 (〃 8 件)
相談件数	88 件 (前年 153 件)								
派遣依頼	71 件 (〃 135 件)								
活動希望・登録	12 件 (〃 10 件)								
情報提供	5 件 (〃 8 件)								

施策体系・事業名	事業内容
	<p>切手整理、車いす清掃活動など</p> <ul style="list-style-type: none"> ●①～⑥の合計 <ul style="list-style-type: none"> 派遣依頼（71件） 派遣件数 31件／延日数 130日／延人数 221人 【派遣件数（31件）の種別】 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者関係の活動 2件（前年 61件） 障がい関係の活動 3件（〃 17件） 子ども関係の活動 0件（〃 1件） 病院の活動 0件（〃 2件） 学校の活動 21件（〃 38件） 社協の活動 5件（〃 5件） 福祉委員会の活動 0件（〃 0件） 地域の団体の活動 0件（〃 1件） 個人宅での活動 0件（〃 1件） 災害に関わる活動 0件（〃 0件） 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ●依頼件数 71件のうち派遣が出来なかった 40件の理由 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 40件 ・悪天候のため中止 0件 ・活動規模縮小のため 0件 ・お盆時期や活動までの調整期間が短く調整不調 0件 ●新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために中止となった継続活動（傾聴ボランティアなど） 延日数 1,079日／延人数 1,167人 ●ボランティアセンター研修会 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 ●ボランティア交流会 <ul style="list-style-type: none"> ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 ●ボランティア体験事業 <ul style="list-style-type: none"> ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止 ●ボランティア活動協力校への支援 <ul style="list-style-type: none"> 助成金 小学校等 18校 助成金 660,000円（前年 685,000円） 福祉学習の支援 高齢者疑似体験ほか ※14（P24参照）

4 権利擁護推進事業（10,219,645 円）

※決算報告書収支決算総括表 P3 参照

施策体系・事業名	事業内容
<p>1 成年後見センター事業</p>	<p>◎事業費 10,213,015 円（前年 10,802,446 円）</p> <p>●成年後見センター</p> <p>判断能力の低下した高齢者や障がい者に対し、金銭管理や身上保護など、日常生活を支援する成年後見制度の普及啓発及びケース検討を行う</p> <p>運営委員会 委員 8 名 2 回（前年 2 回）</p> <p>相談支援業務</p> <p>新規 57 件（〃 57 件）相談支援延 244 回（〃 199 回）</p> <p>後見制度利用支援業務</p> <p>申請書類作成支援 5 件（〃 6 件） 申立支援 5 件（〃 5 件）</p> <p>ケース検討会 0 回（〃 1 回） 検討ケース 0 件（〃 7 件）</p> <p>市民後見人養成等業務</p> <p>市民後見人候補者 21 人（〃 22 人）</p> <p>市民後見人養成講座</p> <p>※実施予定であったが新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い中止</p> <p>フォローアップ研修 0 回（〃 1 回） ※15（P24 参照）</p> <p>人材バンク運営事業</p> <p>登録者 41 人（〃 22 人）</p> <p>（25 年度修了生 17 人、28 年度修了生 3 人、30 年度修了生 2 人、元年後見支援員養成講座修了者 21 人）</p> <p>活動人員 35 人（〃 43 人）</p> <p>（普及活動協力員 14 人、後見支援員 18 人、生活支援員 3 人）</p> <p>※活動の重複あり ※16（P24 参照）</p> <p>普及啓発業務 0 回（〃 17 回） ※17（P24 参照）</p> <p>他機関との打ち合わせ・連携</p> <p>行政担当者 2 回（〃 2 回）</p> <p>家事関係機関（家裁ほか）連絡協議会 1 回（〃 1 回）</p> <p>地域たすけあい会議 0 回（〃 2 回）</p>
<p>2 日常生活自立支援事業</p>	<p>◎事業費 2,660 円（前年 0 円）</p> <p>●日常生活自立支援</p> <p>物忘れ等により日常の金銭管理が困難な方に対し、安定した暮らしが営めるよう日常生活の支援を行う</p> <p>契約件数 5 件（前年 5 件）</p>

施策体系・事業名	事業内容
	生活支援員 11 人（＼ 11 人） 支援回数 延 222 件（＼ 190 件）
3 生活あんしん事業 (緊急事務管理事業含む)	◎事業費 3,970 円（前年 0 円） ●生活あんしん事業 日常生活自立支援事業の利用要件に該当しない、グループホーム等の入居者で、金銭管理支援を受けられない方を対象に、生活支援員が訪問し日常的な金銭管理などの生活支援を行う 利用件数 2 件 ●緊急事務管理 日常生活自立支援事業や後見制度の適用までの一時的な金銭管理等を行う 利用件数 2 件（前年 2 件）

5 生活福祉資金等貸付事業（568,320 円）

※決算報告書収支決算総括表 P 3 参照

施策体系・事業名	事業内容
1 福祉金庫貸付事業	◎事業費 0 円（前年 0 円） ●福祉金庫 市内在住の援護が必要な方に対し、一時的且つ緊急的な貸付 貸付件数 0 件（＼ 0 件） 0 円（＼ 0 円）
2 生活福祉資金貸付事業	◎事業費 568,320 円（前年 591,860 円） ●生活福祉資金 経済的自立と生活の安定を目的に北海道社会福祉協議会の各種資金貸付に必要な相談及び融資の受付を行う 相談受付件数 延 2,312 件（前年 392 件） 貸付件数 734 件（＼ 29 件） 福祉資金 2 件（＼ 5 件） 3,335,000 円（＼ 1,838,000 円） 教育支援資金 5 件（＼ 7 件） 4,579,000 円（＼ 5,407,000 円） 緊急小口資金 7 件（＼ 4 件） 465,000 円（＼ 384,000 円） 総合支援資金 6 件（＼ 0 件） 2,202,000 円（＼ 0 円） 特例緊急小口資金 375 件（＼ 13 件） 68,810,000 円 （＼ 1,800,000 円） 特例総合支援資金 339 件（＼ 0 件） 180,603,000 円（＼ 0 円）

6 法人運営事業（62,481,509 円）

※決算報告書収支決算総括表 P 3 参照

施策体系・事業名	事業内容
1 人件費	◎事業費 48,225,422 円（前年 47,539,737 円） ●給与 27,007,008 円 職員 18,398,900 円 準職員 8,608,108 円 ●手当等 14,300,115 円 職員 12,872,220 円 準職員 1,427,895 円 ●法定福利費 6,918,299 円（健康保険料、厚生年金保険料ほか）
2 法人事務費	◎事業費 6,936,490 円 ●事務費 6,936,490 円（旅費、消耗品、通信費、賃借料ほか）
3 積立資産支出	◎事業費 558,480 円 ●退職給付引当 558,480 円（民間共済会掛金）
4 その他の活動による支出	◎事業費 2,022,960 円 ●退職手当積立基金預け金 2,022,960 円（全社協掛金）
5 北広島エルフィンビル 施設管理	◎事業費 4,738,157 円 ●事務費 4,738,157 円（備品費、水道光熱費、賃借料ほか）
6 理事会等の運営に関する こと	●理事会 4 回（前年 4 回） ●評議員会 2 回（〃 2 回） ※第 1 回理事会～第 3 回理事会・・・書面審議によるみなし決議 ※定時評議員会・・・書面審議によるみなし決議
7 財務管理に関する こと	●賛助会員加入促進 129 自治会・町内会 4,146,450 円 ●特別会員加入促進 74 件 758,000 円 ●社会福祉活動基金 142,911,782 円 ●定例監査の実施 4 回
8 苦情解決体制	●第三者委員 2 人 開催なし
9 地域福祉実践計画の 進行管理及び策定	●地域福祉に係る事業活動の推進を図るため、各事業の進捗を管理する。また、令和 3 年度からの 6 年間の社協活動の基本計画である第 7 期地域福祉実践計画は策定委員会（委員 9 名）を設置して策定した。

施策体系・事業名	事業内容
10 災害ボランティアセンター運営体制の整備	●新型コロナウイルスの感染拡大状況下における災害ボランティアセンターの運営等に関する情報共有及びセンター運営費用の国庫負担の運用について、市担当課に情報提供した。
11 防災・減災等をテーマとする研修会の開催	※新型コロナウイルス感染症の拡大防止により中止
12 避難行動要支援者情報の活用	●避難行動要支援者名簿活用方法等について市と協議中
13 サロン活動の支援	●ふれあいサロン等運営相談、支援高齢者支援センター等との連携
14 実習生の受け入れ	●社会福祉援助技術現場実習生の受け入れ 1人
15 市民への情報提供	●広報「明るいまち」の発行 6月1日号 (第168号) 18,000部 10月1日号 (第169号) 17,550部 2月1日号 (第170号) 17,200部
16 北広島エルフィンビル会議室等の利用実績	会議室1 (延360件 3,057人) 会議室2 (延287件 2,495人) ボランティアルーム (延181件 1,379人) 相談室A (延187件 460人) 相談室B (延220件 711人) 相談室兼ミーティングルーム (延163件 452人)
17 福祉バス運行受付業務	●福祉バスの運行 市内高齢者の生きがいづくりなど企画する地域の福祉団体等へ貸出 運行日数 延41日 (前年281日) 市福祉バス 延30日 (〃153日) 借上げバス 延11日 (〃128日) 利用実団体数 24団体 (〃152団体)
18 物品等の貸出	●車いす等の貸出 貸出件数 130件 (前年189件) 車いす 112件 (〃170件) ※19 (P25参照) アイマスク 1件 (〃0件)

施策体系・事業名	事業内容
	高齢者疑似体験セット 10件（＼7件） 白杖 4件（＼4件） レスキューキッチン 1件（＼2件） ポット・カップ等 2件（＼6件）
19 印刷機の貸出	●印刷機1台、コピー機1台、大型プリンター1台 紙折り機1台（新規）
20 物品等預託事業	●寄贈（預託）品の受入れ、寄贈趣旨に沿い施設等へ提供 寄贈（預託）件数 延195件（前年209件） 個人 延105人（＼120人） 学校 延3校（＼5校） 団体 延87団体（＼84団体） 寄贈（預託）品 車いす2台 リングプル304kg 使用済み切手多数 未使用切手35,950円分 未使用はがき63枚 紙おむつ等123袋 雑巾1,125枚 洗濯用洗剤61.1kg 花苗1,000株 マスク393枚 ティッシュ81箱 ラップフィルム4本 アルミホイル3本 キッチンタオル4袋 キッチンおしぼり24枚 口腔ケアスポンジ2箱 ストロー3袋 介護用食品3箱 食洗機用洗剤2袋 食器用洗剤1本 入れ歯洗浄剤1箱 ガラスクリーナー1本 殺虫剤4本 毛糸8.7kg 布類23.1kg 脱脂綿1袋 手作りひざ掛け10枚 キルトカバー2枚 キルトコースター12枚 手編みマフラー7本 アームカバー42枚 フットカバー24足 帽子用コサージュ7個 ひんやりタオル42枚 コールドスプレー4本 大根約1,500本 玉ねぎ約150kg かぼちゃ16個 清涼飲料水120本 鶏肉40.83kg イオンギフトカード（29,500円分） 卓上カレンダー50冊 ジグソーパズル16個 額縁12個 食品69箱 雑貨35箱 猫砂24箱 ペットフード1箱 等
21 公用封筒の広告募集	●封筒裏面に広告を掲載 0件（0件）

施策体系・事業名	事業内容
22 関係機関団体との連携	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、地区社会福祉委員会役員会議、地区社会福祉委員会情報交換会、社協役員、地区社会福祉委員役員、自治連合会役員合同研修会は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●石狩管内社協職員連絡協議会 <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、総会は書面審議、研修会は（2月25日）オンライン、先進地視察研修は中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域たすけあい会議（協議体） <ul style="list-style-type: none"> 職員4人が地区を分担し、それぞれの地域の高齢者支援センターなどと連携し、地域づくりを進める活動 東部北地区 1回 東部南地区 3回 西の里地区 1回 大曲・西部地区 3回 北広島団地地区 2回 ●その他関係団体との連携 <p style="text-align: right;">※20（P25 参照）</p>

2 公益事業

1 法人後見事業（171,052円）

※決算報告書収支決算総括表P4参照

施策体系・事業名	事業内容
1 法人後見事業	<p>◎事業費 171,052円（前年308,052円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家族等がなく後見人等になる者がいない又は市長申立ての方に対し、家庭裁判所の審判に基づき被後見人等の生活の支援を行う 受任件数 14件（〃12件） 活動中の後見支援員 14人（〃13人） 支援回数 延742回（〃541回） 後見支援員養成講座 ※支援員を一定数、確保できているため当面は実施しない 元年修了者26人 内後見支援員登録者19人 <p style="text-align: right;">※18（P24 参照）</p>

3 補足説明

説明項目	内 容
評議員会 ※1 (P2)	定款第 6 条で設置する機関で、評議員は地区社会福祉委員会 9 人、ボランティア団体 2 人、北広島市民生委員児童委員 2 人、自治会・町内会 7 人、北広島市老人クラブ連合会 1 人、障がい者団体 1 人、社会福祉及び社会教育団体 6 人、北広島市共同募金委員会 1 人、学識経験者 2 人の最大 31 人で構成される。評議員の任期は 4 年で、現評議員は令和 3 年度の定時評議員会終結時までの任期となっている。
理事会 ※2 (P3)	定款第 26 条で設置される機関で、北広島市社会福祉協議会の業務運営に関し必要な事項を審議する。理事は、地区社会福祉委員会 4 人、ボランティア団体 2 人、北広島市民生委員児童委員 1 人、自治会町内会 2 人、北広島市老人クラブ連合会 1 人、障がい者団体 1 人、社会福祉施設 1 人、北広島市所管部長 1 人、学識経験者 2 人の最大 15 人で構成される。理事の任期は 2 年で、現理事は令和 3 年度定時評議員会終結時までの任期となっている。
北ひろしま福祉のつ どい ※3 (P6)	表彰状の贈呈
手話奉仕員養成研 修等事業 ※4 (P7)	《全講座講師》 北広島聴力障害者協会、手話通訳問題研究会道央支部北広島班、北広島市専任手話通訳者
地区社会福祉委員会 ※5 (P8)	東部北、東部南、西の里・虹ヶ丘、西部、大曲、第 1 住区地区、第 2 住区地区、第 3 住区地区、第 4 住区地区の 9 地区にそれぞれ組織されている社会福祉委員会
福祉団体 (6 団体) ※6 (P8)	北広島市身体障害者福祉協会 北広島市老人クラブ連合会 北広島市介護者と共に歩む会 北広島市母子寡婦ニレの会 北広島市ことばを育てる親の会 北広島市しょうがい児者を持つ親の会
認知症サポーター養 成講座※7 (P10)	《受講者 2 団体 101 人》 北広島市新任職員 20 名、大曲小学校 4 年生 81 名 《キャラバン・メイト 4 人》 北広島市ひがし高齢者支援センター 池栄治 北広島居宅介護支援事業所四恩園 伊東賢志朗 グループホーム雪ぼうし 今莊雅理 居宅支援相談センターきぼう 高橋正人 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した学校には資料を提供する。(北の台小学校 5 年生 81 名/広葉中学校 1 年生 56 名)
きたひろしまおれん じメイト	●きたひろしまおれんじメイト 認知症サポーターステップアップ講座を受講した活動登録者で、認知症の普及、啓

説明項目	内 容
※8 (P10)	発等の活動を行う。 《主な活動内容》 ・図書館PR隊（図書館で認知症書籍や世界アルツハイマーデーのPR） ・オレンジフラワーサポーター（オレンジの花を自宅等で育て認知症啓発を行う） ・認知症サポーターカード制作隊（オレンジリングに変わる認知症サポーターカードの制作準備）
紙おむつ購入協力店舗（13店舗） ※9 (P11)	サンドラッグ北広島店 ツルハドラッグ北広島店 マックスバリュ北広島店 ツルハドラッグ北広島中央店 ラポート（北広島病院内売店） 新井薬局 サ ッポロドラッグストアー虹ヶ丘店 サッポロドラッグストアーインタービレッ ジ大曲店 サッポロドラッグストアーセリオおおまがり店 カインズホーム大 曲店 ツルハドラッグ北広島大曲店 ㈱北基サービス ジョイフルエーカー大 曲店
訪問理容サービス協 力店舗（6店舗） ※10 (P11)	想ヘアワークスヤマザキ 理容チャマ ヘアーズドゥ ヘアサロンすみだ 丘理容室 ㈱みやはら理美容院
除雪サービス以外の 除雪ボランティア ※11 (P12)	28 広葉中学校 2/3 西の里たすけあい会議
ボランティア団体 （13団体） ※12 (P13)	アオサギの会 あゆみの会 いいとも会 北広島市赤十字奉仕団 北広島市無 線赤十字奉仕団 北広島手話の会 北広島要約筆記サークル 北広島朗読ボラ ンティア「ひびき」 北広島ガイドヘルパーの会「アイ」 白樺会 星槎道都大学 ボランティア研究部 布のおもちゃライブラリー「赤い実の会」 K.L.U.C.
福祉パネル展（68団 体）※13 (P14)	アオサギの会 あゆみの会 いいとも会 北広島市赤十字奉仕団 北広島手話 の会 北広島要約筆記サークル 北広島朗読ボランティア「ひびき」 北広島ガ イドヘルパーの会「アイ」 白樺会 星槎道都大学ボランティア研究部 布のお もちゃライブラリー「赤い実の会」 K.L.U.C. 東部小学校 西部小学校 西の 里小学校 大曲小学校 大曲東小学校 双葉小学校 緑ヶ丘小学校 北の台小 学校 東部中学校 西部中学校 西の里中学校 大曲中学校 広葉中学校 緑 陽中学校 北広島高等学校 白樺高等養護学校 札幌養護学校共栄分校 札幌 日本大学中学高等学校 札幌日本大学高等学校 JRC 東部北地区社会福祉委員 会 東部南地区社会福祉委員会 西部地区社会福祉委員会 大曲地区社会福祉 委員会 第1住区地区社会福祉委員会 第2住区自連福祉部 第3住区地区社 会福祉委員会 第4住区地区社会福祉委員会 西の里・虹ヶ丘地区社会福祉委 員会 児童養護施設天使の園 児童養護施設北光社ふくじゅ園 北広島市こど も発達支援センター 北広島市高齢者総合ケアセンター聖芳園 介護老人保健 施設エスポワール北広島 北広島リハビリセンター特養部四恩園 医療法人や わらぎ 北ひろしま福祉会 北海道リハビリ NPO 法人たすけあいワーカー

説明項目	内 容
	<p>ズドンぐり NPO 法人わたげ NPO 法人フェアリー 北広島市老人クラブ連 合会 北広島市しょうがい児者を持つ親の会 北広島聴力障害者協会 北広島 手話通訳問題研究会 MHC 北ひろしま 北広島市ことばを育てる親の会 北広 島消費者協会 北広島市民生委員児童委員連絡協議会 障がい者生活支援セン ターみらい きたひろしま暮らしサポートセンターぼると 北広島市高齢者支 援センター（ひがし・にし・みなみ・きた） 北広島市障がい者自立支援協議 会 北広島市社会福祉協議会</p>
<p>福祉学習支援団体等 ※14 (P15)</p>	<p>視覚障がいの当事者 北広島市専任手話通訳者 ボランティア団体（ガイドヘル パーの会アイ） 特別養護老人ホーム聖芳園 聖芳園デイサービスセンター 聖芳 園居宅介護支援ステーション 北海道リハビリ 西の里恵仁会病院 北広島複 合型サービス四恩園 北広島デイサービスセンター四恩園 北広島グループホー ム四恩園 北広島居宅介護支援事業所四恩園 デイホームかたる 地域サポート センターみなみ 北広島リハビリセンター 障がい者生活支援センターみらい (株)マルベリーさわやかセンター恵庭 ケアプランセンターひまわり 茶話本舗デ イサービスきたひろしま東共栄 障がい者生活支援センターみらいのピア・カウ ンセラー（肢体障がい・聴覚障がい） 北広島市高齢者支援センター（きた・み なみ）、北広島市社会福祉協議会職員</p>
<p>市民後見人養成講 座・フォローアップ 研修※15 (P16)</p>	<p>実施予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止</p>
<p>人材バンク運営 ※16 (P16)</p>	<p>《普及啓発活動協力員》 講座開催に伴うチラシやパンフレットの配布、会場設営の手伝い等 《後見支援員》 社協の法人後見業務において、支援計画に基づき対象者の身上保護を中心に支 援 《生活支援員》 日常生活自立支援事業において対象者の福祉サービス利用の援助・日常的金銭管 理等を支援</p>
<p>普及啓発業務 ※17 (P16)</p>	<p>《制度・事業説明・パンフレット配布等》 出前説明会は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い行っていない 市内公共施設及び金融機関にパンフレットを配布 社協広報（明るいまち）やホームページにセンター概要を掲載</p>
<p>後見支援員養成講座 ※18 (P21)</p>	<p>支援員を一定数、確保できているため当面は実施しない</p>

説明項目	内 容
物品等の貸出（車いす貸出状況） ※19（P19）	<p>《貸出場所》</p> <p>北広島市社会福祉協議会 54 件 大曲出張所 17 件 西の里出張所 4 件 西部出張所 3 件 北広島団地住民センター20 件 エルフィンパーク市民サービスコーナー7 件 中央公民館 4 件 ふれあい学習センター3 件</p> <p>《使用内訳》</p> <p>通院・散歩・旅行・室内・買物 54 件、福祉学習・研修 3 件</p>
関係機関団体との連携 ※20（P21）	<p>北広島リハビリセンター特養部四恩園サービス検討委員会委員 北広島リハビリセンター障がい者施設サービス検討委員会委員 北広島市訪問看護ステーション運営委員会委員 北広島市地域包括支援センター運営協議会委員 北広島市防災会議委員 北広島市地域密着型サービス等運営委員会委員 北広島市障がい者自立支援協議会委員 北広島市介護サービス連絡協議会委員 千歳地域自殺予防対策連絡協議会委員 児童養護施設天使の園第三者委員 特別養護老人ホーム東部緑の苑第三者委員 NPO 木まぐれ研究所第三者委員 厚別・北広島地区被害者支援ネットワーク会議委員 児童養護施設北光社ふくじゅ園評議員 北広島団地地域サポートセンターとともに継続的地域協議委員</p> <p>北広島市総合計画策定市民懇話会委員 社会医療法人即仁会監事</p>

4 令和2年度評議員等一覧

役職	氏名（選出団体等） ※敬称略	就任・辞任年月日	任期
評議員		※新規就任年月日	
	西村 昭光（東部北地区社会福祉委員会）	平成 27 年 5 月 2 日	
	中田 政實（東部南地区社会福祉委員会）	平成 26 年 1 月 1 日	
	三浦 信子（西の里・虹ヶ丘地区社会福祉委員会）	平成 28 年 1 月 1 日	
	谷岡 隆志（大曲地区社会福祉委員会）	平成 26 年 5 月 1 日	
	吉田 正（西部地区社会福祉委員会）	平成 30 年 6 月 5 日	
	石岡 精美（北広島団地第一住区地区社会福祉委員会）	平成 28 年 1 月 1 日	
	浅野 静夫（北広島団地第二住区自治連合会福祉部）	令和 2 年 6 月 10 日	
	平松 孝雄（北広島団地第三住区地区社会福祉委員会）	平成 28 年 1 月 1 日	
	勝山 庄平（北広島団地第四住区地区社会福祉委員会）	令和元年 5 月 17 日	
	長谷川 由理（きたひろしま文庫の会）	平成 28 年 1 月 1 日	
	高木 則子（いいとも会）	平成 28 年 1 月 1 日	
	石丸 勝三（北広島市民生委員児童委員連絡協議会）	平成 28 年 12 月 1 日	
	大西 登志子（北広島市民生委員児童委員連絡協議会）	平成 28 年 12 月 1 日	
	小林 加都信（稲穂町自治連合会）	令和元年 5 月 17 日	

役職	氏名（選出団体等） ※敬称略	就任・辞任年月日	任期
	阪本 宣史（西の里連合町内会） 丹治 叔人（富ヶ岡連合町内会） 坂井 靖雄（大曲地区連合町内会） 細川 義夫（北広島団地第二住区自治連合会） 佐々木 孝雄（北広島団地第四住区自治連合会） 阿知良 信夫（北広島市老人クラブ連合会） 森 光子（北広島市身体障害者福祉協会） 行方 絵美（大曲いちい保育園） 及川 幸紀（北広島市シルバー人材センター） 横山 スミ（北広島市母子寡婦ニレの会） 小澤 強（北広島市文化連盟） 石井 邦夫（北広島ライオンズクラブ） 島谷 清張（北広島市介護サービス連絡協議会） 芝田 慶子（北広島市共同募金委員会） 浜田 薫（北広島商工会） 菅原 聡（北広島市小中学校校長会）	平成 28 年 1 月 1 日 平成 28 年 1 月 1 日 平成 30 年 6 月 5 日 令和 2 年 6 月 10 日 平成 28 年 1 月 1 日 平成 24 年 1 月 1 日 令和元年 5 月 17 日 平成 28 年 4 月 1 日 平成 29 年 6 月 6 日 平成 28 年 1 月 1 日 平成 28 年 3 月 29 日 平成 27 年 7 月 8 日 平成 21 年 4 月 15 日 平成 26 年 7 月 24 日 平成 29 年 6 月 6 日 平成 30 年 6 月 5 日	
	上記 30 名の評議員の任期は、令和 3 年度の定時評議員会まで ※令和 3 年 3 月 31 日現在の評議員数 30 名		
理事	石川 義行（西の里・虹ヶ丘地区社会福祉委員会） 佐野 ミツル（北広島団地第二住区自治連合会福祉部） 北澤 征夫（北広島団地第四住区地区社会福祉委員会） 大東 恒子（西部地区社会福祉委員会） 和田 茂子（北広島市赤十字奉仕団） 杉山 節子（北広島手話の会） 伊藤 正秀（北広島市民生委員児童委員連絡協議会） 小池 隆史（富ヶ岡連合町内会） 石尾 修（大曲地区連合町内会） 志田 学（北広島市老人クラブ連合会） 仲上 知子（北広島市しょうがい児者を持つ親の会） 三木 千晶（北広島市介護サービス連絡協議会） 三上 勤也（北広島市保健福祉部長） 川島 光行（学識経験者） 三熊 秀範（学識経験者）	※新規就任年月日 令和元年 5 月 28 日 令和 2 年 6 月 22 日 令和元年 5 月 28 日 平成 30 年 10 月 4 日 令和元年 5 月 28 日 令和元年 5 月 28 日 平成 23 年 1 月 13 日 平成 24 年 7 月 12 日 平成 30 年 6 月 21 日 令和元年 5 月 28 日 令和元年 5 月 28 日 令和元年 5 月 28 日 令和元年 5 月 28 日 平成 18 年 4 月 1 日 平成 24 年 7 月 12 日	
	上記 15 名の理事の任期は、令和 3 年度の定時評議員会まで ※令和 3 年 3 月 31 日現在の理事数 15 名		
監事		※新規就任年月日	

役職	氏名（選出団体等）	※敬称略	就任・辞任年月日	任期
	伊与 信一（学識経験者） 雨宮 正（学識経験者）		平成 28 年 4 月 1 日 平成 28 年 4 月 1 日	
上記 2 名の監事の任期は、令和 3 年度の定時評議員会まで				
評議員選任・解任委員会委員			※新規就任年月日	
	石井 潤一郎（外部委員）		平成 29 年 4 月 1 日	
	麻生 昌裕（外部委員）		平成 29 年 4 月 1 日	
	雨宮 正（北広島市社会福祉協議会監事）		平成 29 年 4 月 1 日	
	伊与 信一（北広島市社会福祉協議会監事）		平成 29 年 4 月 1 日	
	田中 宏明（北広島市社会福祉協議会事務局次長）		平成 29 年 5 月 31 日	
上記 5 名の委員の任期は、令和 3 年度の定時評議員会まで				
苦情解決処理委員（第三者委員）			※新規就任年月日	
	曾我 皆達（学識経験者）		平成 20 年 8 月 1 日	
	中津 史郎（学識経験者）		令和 2 年 4 月 1 日	
上記 2 名の委員の任期は、令和 4 年 3 月 31 日まで				
第 7 期地域福祉実践計画策定委員会委員				
副委員長	石川 義行（北広島市社会福祉協議会理事／西の里・虹ヶ丘地区社会福祉委員会） 佐野 ミツル（北広島市社会福祉協議会理事／北広島団地第二住区自治連合会福祉部） 和田 茂子（北広島市社会福祉協議会理事／北広島市赤十字奉仕団） 仲上 知子（北広島市社会福祉協議会理事／北広島市しょうがい児者を持つ親の会）			
委員長	西村 昭光（北広島市社会福祉協議会評議員／東部北地区社会福祉委員会） 佐々木 孝雄（北広島市社会福祉協議会評議員／北広島団地第四住区自治連合会） 阿知良 信夫（北広島市社会福祉協議会評議員／北広島市老人クラブ連合会） 越後谷 美和子（北広島市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員長／アオサギの会） 工藤 晃（北広島市民生委員児童委員連絡協議会理事／北広島団地地区民生委員児童委員協議会）			
任期：令和 2 年 8 月 28 日から令和 3 年 3 月 31 日まで				